まちかどレポート

身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】市企画課広報広聴係（☎ 0944・77・8425）

市民との大切な交流の場
秀ノ山会柳川市民感謝祭を開催

10 月 26 日に高畑公園で秀ノ山会柳川市民感謝祭が開催されました。九州場所の期間中に高畑公園で稽古する秀ノ山親方（元大関琴奨菊）や秀ノ山部屋の力士たち。同部屋の稽古見学や相撲体験、ふれあい餅つき、特製ちゃんこを求めて、大人から子どもまで約 500 人が参加しました。子ども相撲体験に参加したやまと小 3 年の平川善翔（ぜんしょう）さん（9 歳）は「秀ノ山部屋の相撲体験は去年も参加していて、楽しみにしている。親方とも会話ができた。練習の成果を発揮して次も参加したい」と話しました。

【上】力士に力いっぱいぶつかる子どもたち
【下】力を合わせておいしい餅ができました

合戦を前に気合いを入れる参加者

気合あふれるチャンバラ合戦
大河ドラマを柳川へ柳川戦国パーク 2025

高畑公園で 10 月 13 日、柳川戦国パーク 2025 が開催されました。大河ドラマ招致活動の一環として、令和 4 年から続く、人気の体験型イベント。メインイベントのチャンバラ合戦には大人から子どもまで 300 人が参加しました。2 チームに分かれて腕につけたボールをスポンジ製の刀で落とし合うチャンバラ合戦。参加した野田明咲仁（あさひ）さん（6 歳）は「去年は自分のチームが負けて悔しかったけど今年は大将になって、チームが勝ててうれしかった」と喜びました。

練習の成果を発揮し、力強くソーラン節を披露

地域でつながる素晴らしさ
第 31 回フェスタなかやま

地域の結びつきを深め、人権の大切さを考える「第 31 回フェスタなかやま」が 10 月 18 日に社会教育集会所でありました。当日は天候が悪く、スケジュールを変更しての開催となりましたが、小中学生の学習発表やのど自慢大会などが行われました。なかやまソーランを披露した中山小 6 年の吉開咲空（さら）さん（12 歳）は、「この日を楽しみに 1 カ月練習してきた。雨があがって、地域の人たちの前で披露できてよかった。来年もみんなと踊りたい」と話してくれました。

記念植樹をする松永市長（右）と江島副市長（右から 2 人目）

柳川市民の森で記念植樹
協定締結と市合併の 20 周年を記念

10 月 25 日、八女市矢部村にある「柳川市民の森」で、「水のふるさと協定」締結 20 周年と柳川市合併 20 周年を記念した植樹が行われました。平成 17 年 10 月 3 日に柳川市と矢部村の交流と発展を目的に締結した「水のふるさと協定」。例年、協定をきっかけに整備された「柳川市民の森」でボランティアによる植樹や下草刈りを実施しています。今年は市内から 52 人が参加。下草刈り後の昼食では矢部村の郷土料理が振る舞われるなど、参加者が交流しました。

むつかけ体験に悪戦苦闘

有明海の不思議を体験
やながわトライアルキャンパス「むつかけ体験」

10 月 18 日、柳川むつごろうランド周辺の干潟でむつかけ（ムツゴロウ釣り）体験を行いました。これは、体験を通じて子どもの郷土愛を育み、子どもたちの「何事にもチャレンジする力」を育成することを目的としたやながわトライアルキャンパス事業の一環として実施。市内の小学 4 ～ 6 年生が参加し、むつかけを通じて潮の干満差が日本一の有明海を楽しく体感しました。やまと小 5 年の古賀壮惺（そうせい）さんは、「難しかったけど 1 匹釣れてうれしかった」と話してくれました。

28 m先の的を狙い、精神集中

狙いをさだめ、静かなる熱戦
柳川市長杯白秋祭弓道大会

10 月 26 日、市民弓道場で第 37 回柳川市長杯白秋祭弓道大会が開かれました。白秋祭の時期にあわせて毎年開催される大会に県内をはじめ、佐賀県や熊本県などから 265 人が集結。静かながらも緊迫した熱戦が繰り広げられました。参加者は 28 m先にある直径 36cm の的を狙いすまして矢を放ち、的に命中すると大きな歓声があがっていました。大会の結果、市内で活動する柳川弓道会の岡隆広さんが 8 射中 7 本を的中させ、見事準優勝に輝きました。

早朝からノリ網を海に張り込む生産者たち

今年こそは豊作を願って
ノリ養殖の種付けが始まる

福岡県沖の有明海で 11 月 4 日、ノリ養殖の種付けが解禁されました。今年は、史上最も遅い解禁日となりました。午前 5 時に解禁されると、ノリ網を積んだ漁船が各漁港から次々と出航。漁場に着くと小回りができる箱舟に乗り換え、ノリの胞子が入った袋を結び付けた網を小間と呼ばれる支柱の間に張り込みました。松本和洋（かずひろ）さんは「解禁は遅くなったが、水温も順調に下がり、海の状態は良さそう。最近は不作が続いているので、今年こそは豊作を」と願いを込めました。